



# 2022年度年末手当 本部見解を発出！

## 2022年度年末手当要結に関する見解

JR東労組組合員は、賃金減少と物価上昇による生活苦でモチベーションが低下する中、新たな施策に動き、新型コロナウイルス感染症への対応や自然災害からの復旧など、逼迫する要員問題を抱えながら安全・安定輸送の確保に向けて系統問はず奮闘し、黒字転換を果たしてきた！しかし、会社は赤字の中で出した今年度夏季手当回答に、たったの0.1ヶ月を加えた2.4ヶ月と、構造改革を期待するとして+2万円を年末手当交渉で回答した。このことは黒字を達成した職場の努力に報いておらず、断じて認められない！**職場からは、一貫して労苦に報いない経営姿勢に「もう我慢の限界だ」「史上最高の働き度で、史上最高の回答」と**声が高まっている。

そして今でも、「飲酒に纏わる不祥事」に対する説明がないことや、「赤字路線の公表」で「鉄道に必要な人員の約4,000人削減」などの報道を受け、不満や不信を抱き、経営姿勢を指摘する声が高まっている。

会社は、年末手当の基本スタンスについて、「下期に想定している高い収入目標のクリアに向けて相当な努力が必要」「変革2027の達成に向けた歩みを止めることなく、社員が新たなチャレンジや創意を発揮出来るステージを広げていく」「会社の持続的な発展が、社員還元のための前提、また働きがいの向上、社員・家族の幸福の実現につながっていく」「支給水準については、直近の業績動向を念頭に慎重に判断」と回答した。今から捉えれば、**会社は予めシナリオを描き、それに基づいた回答をしてくださったかと思える**。また、職場からも「役員報酬がいつのまにか戻っている」との声があげられているが、いつまでも私たちのみに責任を押し付けるかのような経営姿勢は、ご都合主義も甚だしく、満腔の怒りをもって抗議する！しかし、悔しいながらも、私たちがはっきりさせなければならぬことは、**例え黒字となっても、10月の鉄道収入が8割戻ったとしても、今の経営姿勢では「出せるものも出さない」**ということである。

21春闘の敗北を主体的に総括し、要求を練り上げる過程からアンケートなども用いて組合員や未加入者の現実把握と議論を展開し、「生活実感」「労働実感」のペースを導き、要求を掲げて経営姿勢に立ち向かってきた。しかし、会社の基本スタンスを崩せなかったのは冷徹な事実である。なぜなら、そこには私たち組合員の苦しい声とは裏腹に、**社友会は「夏と同等またはそれ以上」といった要望を会社に出し、会社は申7月の団体交渉で「夏の2.3ヶ月を超えてよかった」「思ったよりももらえた」という声で「一定数集まっている」との回答したように、社友会によって「社内世論」が形成されていたのである。この「社内世論」を突破するためには、会社の狙いや経営姿勢を満天下に明らかにし、社友会や未加入者からJR東労組への組織拡大を実現しなければ、私たちの雇用と利益は守れない！まさに、要求実現と組織拡大は両輪である。**

このような経営姿勢や社友会に立ち向かわなくては、23春闘においてまたもやペアゼロや定期昇給のカットなどといった、要求からかけ離れた回答が行われかねない。

経団連の十倉会長は、23春闘に向け、ベースアップを中心に積極的な賃上げを呼び掛ける考えを明らかにした。それは、臨時国会の所信表明演説で岸田首相が「構造転換の賃上げ」を取り組むと宣言したことに関連している。そのことを後押しするかのよう、全トヨタ労連顧問会長は「金額を受けた怒りや悔しさを実践で現すことで、組織が強化されたことを実感している。このような私たちが取り巻く状況の中「連合」は5%の要求を掲げるもの、こういったことに対するスタンスが全く見えない。

このような現実を打ち破るために、JR総連は「物価上昇と組合員の生活実感に基づき賃上げ要求獲得！統一要求・統一闘争で2023JR総連春闘を勝利しよう！」「組合員の声を要求に高め「安全・健康・ゆとり」を実現するために職場からたたかいてこよう！」とスローガンを掲げた。

JR東労組は、年末手当の総括をバネにJR総連と共に、「統一要求・統一闘争」で、JR総連に結集する全国の仲間と共に、連帯・共闘をつくりあげ、23春闘をたたかいて抜いていく決意である。

JR東労組は、2022年度年末手当の低額回答に到底納得できないことから、要求満額回答実現に向け「申7号緊急再申し入れ」を提出し、112機関から抗議声明など全地本の総力をあけて職場におけるたたかいていくことに取り組んできた。最終的に要求の前進を勝ち取ることができたが、会社回答を受けた怒りや悔しさを実践で現すことで、組織が強化されたことを実感した。私たちがおかれている現実、常にたたかいての連続であり、**組織力を高め、JR東労組への結集を呼びかけない限り、道は切り拓かれない。**

中央執行委員会は苦渋の決断として妥結することを判断したが、年末手当回答における怒りと悔しさをバネに、**経営姿勢に立ち向かい、組合員との団結を打ち固め、組織強化・拡大を遂げたい**ものである。

年末手当要求実現に向けてたたかいた、全ての仲間の皆さんに感謝と御礼を申し上げて、中央執行委員会としての見解とする。

2022年 11月16日  
東日本旅客鉄道労働組合 中央執行委員会

会社回答までに6,000件以上、会社回答以降も2,000件以上の組合員・未加入者の怒りの声が寄せられる！

**課題** 組合員と未加入者の声を「受け止める」と回答しつつも、第1回交渉で回答した「基本スタンス」を崩さなかった！

**社友会が、低額な社内世論を形成！**  
【社友会が会社幹部に要望した内容】  
A社社友会 夏季手当を超える回答  
B社社友会 夏と同等またはそれ以上  
C社社友会 夏季手当を超える支給額  
D社社友会 夏季(2.3ヶ月)を超える回答  
E社社友会 夏季手当を超える回答  
⇒この要望は本当に社友会会員の**本音**でしょうか？

会社は、2.4ヶ月+2万円の支給額で「前向きな意見が出ている」ことを団体交渉で回答！

【会社回答(一部抜粋)】  
我々に届いている具体的な声としては、夏を超えて、2.3ヶ月を超えてよかった。思っていたよりももらった。少なくとも2.4ヶ月+2万円ということ予想以上だったということ、前向きな意見がある。  
⇒この会社回答は本当に社友会会員の**本音**でしょうか？

**課題** 会社は、JR東労組の組合員数を見て、約1割の社員の声としか捉えていないのではないだろうか？

**重要!** 2022年度年末手当を総括し、課題を明確にし、2023春闘の勝利を目指して今からたたかおう！

# 年末手当、これが職場の本音だ！

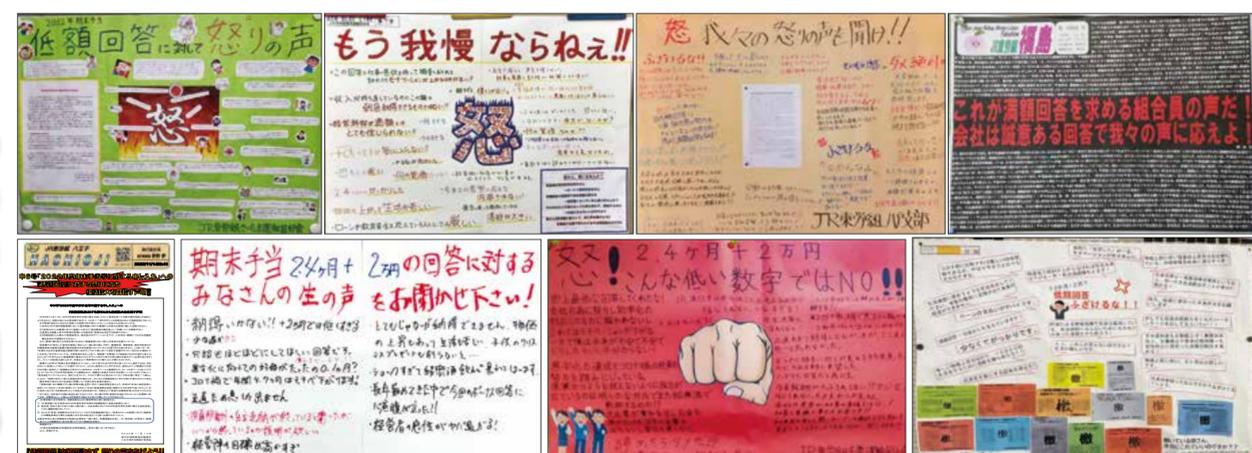
## 私たちの前に立ちはだかる課題を突破するために、JR総連・JR東労組に結集しよう！

共闘で組織力を発揮しなければならぬ。年末手当のたたかいは、会社は「黒字必達」と鼓舞してきたが、いざ黒字転換すれば「好循環」「企業の発展」「給料が上がるといい、また馬車馬のよきに働かせよう」と言いつつ、馬車馬のよきに働かせようという思いを受け止めることも納め得る回答を示さず、経営判断を委ねない頑なな姿勢に強い問題意識を持った。その大きな原因は一部社友会会員から出された「会社にとって都合の良い声」があったことも多くの社員の声とされ、組合員も多く未加入者の現実と本音がきこえていない点にある。この現実突破が今後の大きな課題となる。

一方で職場では「現場長から根拠のない説明がされる」「会社の都合の良いことしか言っていない」「不満を述べればそれはみんなと違うのではないのか」と問いたたかれるという現実であり、年末手当の回答に納得してはくれない愛国気が芽生えつつある職場も少なくない。会社が発定以来最大の乗車の中で「社員の経営参画」を推し進める中、このままでは、風通しの良い職場ではなく、物言えない職場に突き進んでしまふとの危機感を覚えた。

年末手当交渉では、会社は持続的な発展のためには、組合員・社員が力、モチベーションの維持・向上が前提となることを確認した。それを前提に、過去最高の働き度と物価上昇に賃金が追いついていない中でモチベーションの維持・向上の課題について、春の賃上げにおいても極めて重要な課題として位置付けている。

年末手当のたたかいは、過酷な労働環境や生活を守るためにも加入し声を出さなければならぬ。おかしな思っている人も言えない人が多い、自分も当然にせいでいいの考えが加入して、加入者の声と拡大の報告が続々と届いた。この教訓から学び、賃上げ・労働条件上の実現と安心して暮らせる社会、魅き期待の持てる会社をつくり出すために、組合員と共に更なる組織拡大の取り組みをすすめていこう！



## 112機関から抗議声明・見解を発出！怒りの情報も各機関から発行！



## 年末手当「未加入者アンケート」を実施中！ 12/1(木)まで

届いた未加入者の声  
**「社員を大切にしてください。みんな離れていきます。賃金が一番大事です。」**  
多くの支社社友会が、年末手当について社友会会員の声として「夏季手当以上」か「夏季手当と同等」という要望を会社に出していることが分かりました。JR東労組はこのような社内世論が本当に社員の本音なのかと疑問を持っています。そのため、JR東労組未加入者を対象にアンケートを実施しています。アンケートは12月1日まで実施中ですが、現時点での集計結果の一部を紹介します。

- ◆年末手当の会社回答に納得感がありますか。  
ない…82.1% ある…2.8%
- ◆会社回答は職場の努力に報いていると思いますか。  
報いている…77.4% 報いていない…4.7%
- 【主な意見】  
・安すぎてびっくりしている。生活できない。  
・黒字なのにしつこいのはこれまでの赤字期間の我慢が報われない。  
・日々の業務へのモチベーションが上がらない。  
・今回のボーナスの結果を見てはじめて転職サイトを見た。
- ◆仕事や会社に関する自分の意見は尊重されていると思いますか。  
いいえ…77.9%
- ◆会社回答は、物価上昇や生活実感に踏まえていると思いますか。  
いいえ…87.6% はい…2.9%
- 【主な意見】  
・踏まえていたら、こんな低額にならないはず。
- ◆転職を考えたことはありますか。  
はい…63.2%
- 【主な意見】  
・会社は口だけで社員のことを駒だと考えていると思う。  
・社員を大事にしない会社だと感じるため。  
・体を壊してまでこの会社にいる意味がない。加えて今回の回答もあり、時間をもったいないと強く思い始めた。
- ◆家族や知人に、JR東日本で働くことを薦めたいと思いますか。  
思わない…59.8%

JR東労組は未加入者からいただいた声を会社へ届けます！  
アンケートはJR東労組ホームページの「未加入者アンケート」のバナーをクリック！

